

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型デイサービス ケアLabo		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共生型という子どもからお年寄りまでが同じ時間を共有し、交流の機会がある。	集団体操やレクリエーションを一緒に行ったり、長期休みには一緒に食事を食べ交流が来ている。	一緒に取り組める季節の行事の計画を行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少ない	新型コロナウイルスの感染予防の為、保護者同士の交流の機会を作ることができていなかった。	2023年、2024年の年末には餅つき大会を実施し、児童や保護者の参加があった。今後は定期的に保護者同士が交流できる機会の計画を行っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
共生型デイサービス ケアLabo		令和 7年 1月 18日				2024年12月1日		8	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		環境・体制整備	1	90%	0%			0%	10%
	2	90%	0%	0%	10%	職員配置については契約時に説明を行っている。引き続き丁寧な説明をしていく。			
	3	100%	0%	0%	0%	引き続き、児童の状態に合わせた環境設備を行い、清潔で安全に過ごすことができるようにする。また、視覚支援により、特性に応じた環境設備を行う。			
	4	100%	0%	0%	0%				
適切な支援の提供	5	90%	0%	0%	10%	個別と集団の活動の中で、1人1人の特性を把握した上で対応している。			
	6	90%	0%	0%	10%	児童の成長に合わせた支援を行っており、保護者にも分かりやすく具体的に示したり、数値化して記載している。			
	7	90%	0%	0%	10%	児童の思いや保護者の意向を踏まえて個別計画を作成している。職員間で情報を共有していく。			
	8	90%	0%	0%	10%	児童の成長に合わせた支援に必要な項目を設定し、具体的に記載できるよう努める。			
	9	90%	0%	0%	10%	引き続き、児童の思いや保護者の意向を踏まえて個別計画を作成していく。			
	10	90%	0%	0%	10%				
	11	0%	0%	0%	100%	現在保育園や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			
保護者への説明等	12	90%	0%	0%	10%	契約時に説明を行っているが、わからないとの回答もあった為、わかりやすい言葉で説明をしていけるよう努力していく。			
	13	90%	0%	0%	10%	6か月に1度のモニタリングを行い、計画書をもとに支援内容や支援方法の説明をおこなっており、今後も保護者にしっかりと伝わるよう、丁寧な説明を行っていく。			
	14	30%	50%	10%	10%	機会があれば参加したい。			
	15	90%	0%	0%	10%	児童の様子を送迎時にお伝えしたり、連絡帳や電話、LINEでも連絡を取っており、日頃から情報の共有ができるよう、コミュニケーションをとっていく。			
	16	80%	0%	10%	10%	相談時には丁寧な対応を行い、悩みに対してはできる限り解決に至るような助言ができるよう職員の専門性を高めていくと共に保護者と一緒に考え、寄り添った支援ができるように努めていく。			
	17	90%	0%	0%	10%	児童一人ひとりに合わせた支援を行っているが、保護者にも伝わるよう、さらにしっかりと日々の様子や活動内容を伝えていけるようにしていく。			
	18	0%	10%	50%	40%	現在実施できていない為、保護者同士の交流の場を提供できるように努めていく。			
	19	60%	0%	0%	40%	相談に対する体制については、丁寧な対応を行っていく。また職員会議を行い、迅速に対応できるように努める。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		安心して利用していただけるよう、送迎時やモニタリング、連絡帳やLINEでの意思疎通や、情報伝達に努める。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	80%	10%	0%	10%		ホームページを作成しているが、どちらのいえない、わからないとの回答もあった為、定期的に保護者に見ていただけるよう声をかけていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		個人情報の取り扱いについては、職員全員が注意を払うとともに引き続き十分に配慮していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40%	10%	0%	40%		各種マニュアルについては、職員間でも周知徹底し、保護者には契約時やモニタリング時に再度周知するよう努める。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10%	40%	0%	50%		年に2回火災・地震の避難訓練及び通報訓練を行っている。保護者には事前連絡ノートや書面で説明をしたり、ホームページにも掲載していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20%	30%	0%	50%		子どもの安全を確保するための計画についての説明を行い、契約時やモニタリング時に再度周知するよう努める。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		事業所内で発生した事故については保護者に速やかに連絡を行っているが、わからないとの回答もあった為、契約時やモニタリング時に事故等が発生した場合の対応について丁寧に説明していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90%	10%	0%	0%		引き続き安心して利用していただけるよう努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%	10%	0%	0%		児童一人ひとりが楽しく過ごすことができるよう、活動内容の見直しや行事の計画を行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	90%	10%	0%	0%		全ての児童や保護者に満足していただけるよう、信頼関係を深め、支援を行っていく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	共生型デイサービス ケアLabo				公表日	令和7年 1月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		共生型の特徴も活かし、学習支援等に合わせたスペースが確保出来るよう工夫している。	共生型の為、共有スペースはあるが、発達支援室等は設けていない。スペースの確保ができるよう工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		児童の人数は変わらないが、利用児童の入れ替わりはあり。職員の配置人数については契約時に説明しており、1:1もしくは1:2で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		来所時の手順やスケジュール、活動プログラムは視覚的に掲示を行っている。利用児童の状態に合わせた環境整備を行い、集中しやすい環境作りを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃、1日2回の消毒を行い、清潔で安全な環境作りに努めている。感染対策を行い、利用児童が安心して過ごすことができるように衛生管理に万全の注意を払っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウンのスペースを確保したり、必要に応じて利用児童が自由に部屋や場所を使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		事業所の業務目標を設定し、毎月の検討課題や、取り組みの進捗状況の確認を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年実施しており、保護者からの意見も取り入れ、業務の見直しを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎月の職員会議、児童の利用前後にはミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		施設内研修を行っている。外部研修についても調整を行い、参加を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	<input type="radio"/>		見学時や契約時に保護者からニーズや課題の聞き取りを行い、児童の利用時に状況把握と分析を行った上で目標や支援計画の作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的に職員間で意見交換する場を設けている。プログラムの反省点や改善点を活かし、職員間で情報共有していく。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		利用児童の思いや保護者の意向を踏まえて個別計画を作成し、職員間で情報の共有を行っており、今後も継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。				
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に職員間での意見交換をする場を設け、プログラムの反省点や改善点を活かし、職員間で情報共有を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		職員間でアイデアを出し合い、プログラムを作成したり、行事計画を行い、固定化しないよう工夫している。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○	学習支援では児童の特性に合わせて、1:1または2:1で対応している。また興味のある児童にはクッキング等の集団活動を通して1人1人に合った支援を心掛けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	児童の利用前にはミーティングを行い、その日のプログラム、担当を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	児童の利用後にはミーティングを行い、その日の活動の振り返りや記録の作成を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	利用時の様子や支援内容、気づいた点などケース記録として残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月に1度のモニタリング、職員会議にて計画の見直しを行っている。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	個々の児童に合わせて、4つの活動を組み合わせ、児童の興味のあるものを引き出したり、社会経験の幅が広がっていればと考えている。	
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	児童が自己選択、自己決定ができるよう、言葉かけの方法を変えたり、選択肢を増やし対応している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	障害児相談支援事業所からの問い合わせやサービス担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	町の子ども連絡会へ参加し、連携を図っている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在は実施できていないが、交流を深めるためにも保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流を計画していく。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	児童の様子を観察し、気づいたことを連絡ノートに記入するとともに、送迎時に保護者より学校や家庭での様子を伺い、情報の共有を行っている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族支援プログラムや家族等の参加できる研修は実施できていないが、機会があれば参加したいとの意見もあり、計画していく。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等は保護者と行っている。児童の担任の先生とも送迎時に情報交換を行っている。	
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所を通じて、就学前の情報共有を行っている。	
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	現在対象となる児童がいないが、今後の支援の為情報の提供をしていけるよう準備をしていく。	

	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○	協議会からの要請があれば参加していく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	見字時や契約時に保護者からニーズや課題の聞き取りを行い、児童の利用時に状況把握と分析を行った上で目標や支援計画の作成を行っている。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点や踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	児童の成長に合わせて支援内容を変更したり、児童や保護者の思いを尊重し児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成している。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の原案を作成し、原案に沿って支援内容の説明を行い保護者の同意を得ている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	相談時には丁寧な対応を行い、悩みに対しては出来る限り解決に至るような助言ができるよう職員の専門性を高めていくと共に保護者と一緒に考え、寄り添った支援ができるように努めていく。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在実施ができていないが、保護者同士の交流の場を提供できるように努めていく。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	相談、苦情に対する体制としては、日頃から丁寧な説明を行うと共に、苦情に対してはその都度対応し、職員会議を行い、迅速に対応できるように努めている。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	今後もホームページの更新を行い、保護者に積極的に閲覧を勧める。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報の取り扱いについては、職員全員が注意を払うと共に、引き続き十分に配慮していく。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	安心して利用していただけるよう、送迎時やモニタリング、連絡帳やLINEでの意思疎通や、情報伝達に努める。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は実施できていないが、地域住民と交流を深めるため計画を行っている。	
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	相談時には丁寧な対応を行い、悩みに対しては出来る限り解決に至るような助言ができるよう職員の専門性を高めていくと共に保護者と一緒に考え、寄り添った支援ができるように努めていく。	
非 常 時 等 の 対 応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	定期的な研修の開催や、発生を想定した対応の確認を行っている。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	業務継続計画（BCP）を策定し、年に2回の避難訓練、災害時の対応の確認を行っている。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	契約時やモニタリング時に保護者に確認を行っている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時やモニタリング時に保護者から食物アレルギーの確認を行っており、対象の児童については医師の指示書に従い、食物の提供を行っている。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	契約時やモニタリング時に保護者から食物アレルギーの確認を行っており、対象の児童については医師の指示書に従い、食物の提供を行っている。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安心、安全にサービスを提供できるよう、契約時やモニタリング時に説明を行っている。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	利用前のミーティング、職員会議で事例を共有し、再発防止に向けて意見交換を行っている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	今後も虐待防止に関する職員研修を行い、職員間でも常に意識の向上に努める。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束は行っていないが、今後やむを得ず身体拘束を行うことになった場合は、マニュアルに沿った対応、十分に保護者に説明を行う。	